

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ファミリーサポートセンター支援事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課				
施 策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	6か月から小学6年生までの子どもの育児の援助が必要な方と育児の手助けをしたい方	意図	育児援助のための環境整備を通じて安定した生活の確保と利用者の経済的負担の軽減を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児の援助が必要な人（利用会員）と育児の援助ができる人（提供会員）との育児援助活動を円滑に実施するための連絡、調整を行う。</li> <li>当該事業の利用を促進するため利用料の助成を行う。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	平成13年度に設置し、平成17年度から国交付金の対象事業 平成20年度にひとり親家庭に対する助成の開始、平成30年度から多子世帯に対する助成を開始			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	延べ利用回数	4,549	5,289	6,915	回	↑↑↑	
②	利用会員の人数	928	1,031	1,206	人	↑↑↑		
③	提供会員の人数	332	389	418	人	↑↑↑		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成28年度11月からおおたかの森駅前に事務所の出先を設置し、子育て世代のニーズに応じており、提供会員の確保に努めている。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		15,148,109	17,506,176	17,780,156				
事業費(b)(円)		13,775,109	16,163,776	16,461,756				
うち一般財源		8,375,109	8,097,776	8,395,756				
職員給与費(c)(円)		1,373,000	1,342,400	1,318,400				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	多子世帯の養育負担を軽減する。提供会員向けの研修を行い、提供会員の増加と質の確保を図る。	③取組における課題(Check)	子育て世代が増える中、高まるニーズに対応できるよう、提供会員の確保と質の向上が求められる。
②H30に実施した取組(Do)	多子世帯に対する負担の軽減として、未就学児3人を養育する家庭に対しても助成制度を設けた。提供会員向けの研修を追加し、内容を充実させた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	さらに、提供会員の研修内容を充実させ、提供会員の質の確保を行う。